

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 尾側膵切除術後膵液瘻に対する超音波内視鏡下経胃ドレナージの有用性に関する検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター外科 職位・氏名 助教・岡田 嶺

【試料・情報の利用目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科では、尾側膵切除術後における術後膵液瘻、腹腔内膿瘍に対する超音波内視鏡下経胃ドレナージ法について、本法が安全で効果的な治療法（腹腔ドレナージ法）であると確認することを目的として、本研究を計画しました。取得した試料・情報は、本研究について詳細に検討することを目的に利用します。この研究で得られる成果は、尾側膵切除術後における感染性合併症治療の前進が期待されます。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：年齢、性別、併存疾患の有無、手術内容、術後経過など

試料：血液検査結果、画像検査結果など

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者：2015年1月～2025年12月までに東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科において、尾側膵切除術を受けた方

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：消化器センター外科 研究代表医師：岡田 嶺 役職：助教

【利用する者の範囲】

本研究は当院でのみ実施致します。他研究機関への情報提供はありません。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年12月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター外科
職位・氏名 助教・岡田 嶺
電話 03-3762-4151 内線 6530